



雪に覆われたアジ研の裏庭。この日は20cmを超える積雪になりました。
1月23日撮影

あじけん通信

2018 FEBRUARY
VOL122

企画・編集 澁谷 健司

2月に入りました。今年は寒さが厳しく、朝晩は気温が氷点下になることもあります。降雪も既に3回ありました。来日したての実習生の皆さんは、日本語学習だけでなく、日本の寒さとも悪戦苦闘の日々ですが、寒さにも負けず、猛威を振るうインフルエンザにも負けず、皆さん元気に頑張っています！今月16日は、旧暦の新年（中国の春節、ベトナムのテト）。この時期に中国・ベトナムから来日してくる実習生の皆さんは、家族と離れ離れになり、日本で新年を迎えることとなります。今月17日（土）は、毎年恒例となった春節・テトを祝う会が予定されています。実習生の皆さんも、アジ研スタッフも、今からとても楽しみにしています。

あじけんスコープ Vol.62 ～ あじけん実習生寮中庭・雪祭り ～



ベトナム人実習生作：かわいいハート付雪だるま



フィリピン人実習生作：耳付き雪だるま



中国人実習生作：白熊雪だるま？

今月のあじけんスコープは、実習生寮の中庭に現れた、一風変わった雪だるまさんたちをレポートします！冒頭でもお伝えしましたが、今年に入りアジ研では、既に3回の降雪がありました。初めて雪を目にする実習生の皆さんは、雪が降る度に大喜び。取り分け先月22日の大雪の時は、アジ研でも20センチ以上雪が積もりました。朝方まで降り続けた雪でしたが、その後は晴れたこともあり、実習生の皆さんは、早朝から、大喜びで写真を撮ったり、雪だるまを作ったり、寒さを忘れて、日本での雪初体験を満喫していました。上の写真は、そんな実習生の皆さんが作った雪だるま。私たちが見慣れている雪だるまとは、微妙に異なっていて、なんとも言えない作品が並んでいました。

今月の実習生



今月の実習生はベトナム人実習生の PHAM NGOC TRIU(チウ)さんです。2月に入つての金曜日の夜のことでした。数名のスタッフが教務室で残業をしていると、「トン・トン・トン」とドアを叩く音。今頃、誰かな？とドアを開けると、チウさんが写真の料理を手立っていました。金曜日の夜だったので、手料理でささやかなパーティーをしていたところ、遅くまで教務室の電気がついているのを見て、自分達が食べていた料理を持ってきてくれたのでした。夜食には、ちょっとこってり味でしたが、心温まる差し入れに、残業の疲れも吹き飛びました。チウさん、おいしい料理をご馳走様でした！



ひたりのりょうりはおいぎゅう ジャーキーでお
まがおいぎゅうのにくをあらって さんがげうほして
つくります。とてもおいしいですが、たかいです。
お板のりょうりはハレ マキです。ぶたにくときくらげ
ベトナムのネリとねぎとはるさめをライスパーンで
まいて、おぶらごあげてつくります。
おぎのりょうりはサラミです。日本のスープがおいしかったです。
ファムゴックチウ

あじけん流日本語授業

～色の名前を覚えよう～



今月は、色の名称を扱う授業でのあじけん流ひと工夫の例をご紹介します。

例1では、色の学習教材として、ペットボトルのキャップが使われています。日常生活に密着したレアリア（実物教材）なので、実習生の興味を引き出しながら語彙学習ができる利点があります。キャップの他に洗濯ばさみや、めん棒等もカラフルなものがありお勧めです（右上写真）。例1の活動は、色の名称と、既習の数詞（ここでは1つ、2つ、3つ・・・）の学習を組み合わせています。新しい言語材料を扱う時に、既習の学習項目を組み込むことで、より自然な形で復習・繰り返し学習が可能となり、学習内容のより着実な定着が図られていきます。

例2では、色の名称の学習に、「～て！」の形での指示表現に動作で応じる練習が組み込まれています。この活動では、「～ですね」や「これでいいですか？」等の実習生には欠かせない確認表現の定着も図ることが出来ます。また、実習生同志が指示を出し合う、学習者主体の活動なので、より活発な表現活動を促すことが出来ます。

例1：

はい、きみどり いくつかですね。

きみどりのキャップ
いくつか並べて！

ひとつ、ふたつ・・・。



例2：

みずいろの
かみとって！

はい、わかりました。
みずいろ ですね？

これでいいですか？



ホワイトボードから指示された色紙を取る実習生

※当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーも
ご覧になれます